

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、本日ここに「第31回全国豊かな海づくり大会鳥取大会」を開催することは、私ども鳥取県民にとりまして無上の喜びであります。

横路衆議院議長、鹿野農林水産大臣、横光環境副大臣、服部会長をはじめご列席の皆様方、全国からお越しの皆様方を、心から歓迎を申し上げます。ようきんさりました。

そして、これより栄えある表彰を受けられる皆様の榮譽に対し、ご功績に対し、心よりの敬意を表したいと思えます。

「つかの間に 帯をしとけば 夏の海 うれしく光り 肌は白しも」

本県出身の文豪尾崎翠が、網代の海を眼下に見ながら詠んだ歌でございます。

36億年前、全ての命はこの星に海の中から生まれました。母なる海であります。しかし時に自然の猛威を振るう姿となって立ち現れます。

年初には、ここ鳥取県で豪雪が降り、268隻もの船が海中へと沈みました。そして、3月11日、東日本大震災では巨大な津波が魔の手を挙げて襲いかかりました。心より被災者の方々にお見舞いを申し上げ、お悔やみを申し上げます。

ここ鳥取県は再生のふるさとであります。因幡の白ウサギは海を渡り、そして、大国主命のガマの穂の力により甦りました。その大国主命も、一旦は命を失うのでありますが蛤の精、赤貝の精の力で本県の赤猪岩神社で再び命を吹き返します。是非とも皆様ので、再生へ、復興へと歩みを進めて参りたいと思えます。

「つくろうよ みんなが笑顔に なれる海」

1万人を超える白うさぎ大使が立ち上がり、海の再生へ、豊かな海へと乗りだしました。

「がんばろう日本 災害からの復興」

今こそ、手と手を携えて、私たちは立ち上がるべき時であります。

「我が君の いと愛でたまふ 浜菊の そこのみ白く 夕闇に咲く」

平成9年岩手県大槌町におきまして、海づくり大会が開かれました。そこで咲いている浜菊を思い、皇后陛下がお詠みになられたお歌です。今日集まった私たちは、一つの船に乗る仲間であります。共に櫓を漕ぎ、未来へ向けて再生を果たし、復興をとげ、力強く歩んでいく必要があります。夕闇に咲く浜菊の花のように、凜として、上を向いて未来へ向かって突き進んでいきたいと思えます。

天皇皇后両陛下のいやさかをお祈り申し上げ、そして、御列席の皆様、また、豊かな海、人々の安らかならんことをお祈り申し上げまして、あいさつとさせていただきます。本日は本当に有り難うございました。